

卒業研究のてびき

卒業研究とその成果物

本学類では卒業研究は必修科目であり、学士の学位を取得して卒業するために必ず通過しなければならない関門です。それと同時に、卒業研究はみなさんが初めて取り組む研究活動であり、小さいながらも知識情報分野の研究テーマに自律的に取り組んで、その方法論的基盤を獲得することを目標にしています。

その達成プロセスとして、研究の実施、卒業論文の作成、その成果の発表がみなさんに求められます。目標達成の証拠として、みなさんが提出しなければならないものは以下の4点です。

- a. 抄録（A4判1頁にまとめた研究成果の要旨）1部
- b. 卒業論文1部
- c. 電子版抄録（aをそのままPDFに変換したもの）
- d. 電子版卒業論文（bをそのままPDFに変換したもの）

いずれも様式と仕様が定められています。aとbは卒業論文提出期限までに、cとdはその翌日（土日祝日は含まず）までに提出しなければなりません。日程と提出場所の詳細は別途公表します。

成績評価

卒業研究に対する成績評価は通常の科目と同様にA+からDの5段階でおこなわれます。評価の前提として、

- ・着手発表会、中間発表会、最終発表会で発表していること
- ・卒業論文およびその抄録（電子版を含む）を指定日時までに提出していること

が必要です。成績評価に先立ち、まず合否判定が行われます。合否判定の第一段階は、最終発表会での発表に対して行われ、最終発表会に出席した主専攻担当教員および協力教員が「優れている」「十分」「不十分」の記名評価を行います。教員は以下の五つの判断基準のひとつ以上に該当すると判断した場合に「不十分」の判定を下します。

仕事 卒業研究として十分な作業量がない

課題 目的に対して、研究の位置づけや課題の設定に明らかな問題がある

手法 設定された課題に対して妥当な研究方法が選ばれていない

結果 結果の正確性、妥当性のいずれかに重大な疑問がある

論理 説明に飛躍や矛盾が多い

指導教員が「不十分」と判定した場合または3名以上の教員が「不十分」と判定した場合は再審査を実施します。再審査では、主専攻主任が指名する3名の教員（原則として、指導教員、不十分判定を下した教員、不十分以外の判定を下した教員）から構成される審査委員会が、提出された論文、最終発表会での発表内容、指導教員による当該研究過程の説明を踏まえて合否判定を行います。判断基準は同じく上記の5つです。

合否判定の結果や再審査の対象者名は学生には一切周知しません。再審査は学生を交えずに実施し、再発表や口頭試問を課すことなく合否を判断します。なお、再審査の結果、成績報告期限までに論文修正を求めることがあります。この場合、期限までに要求された修正が確認できれば合格、できなかった場合は不合格

(D)となります。合格者の成績(A+/A/B/C)は論文、最終発表、研究過程、再審査を経た場合は審査委員会での評価を総合的に加味して指導教員が判断します。

以上が成績評価のプロセスですが、上記の審査とは別に、指導教員の判断により、主専攻担当教員に卒業論文の査読を依頼することがあります。査読は成績評価とは無関係な手続きで、論文に対する改善意見を第三者から得ることを目的としています。学生は査読報告にもとづいて、期限までに必ず卒業論文を修正しなければなりません。ただし、再審査になった場合、査読者は原則として審査委員に指名されるので、審査委員会からの修正要求があった場合は査読報告による修正よりも優先して対処してください。

再審査における卒業論文の修正、査読に対する修正のいずれも電子版の卒業論文を更新する形で行いますが、提出済みの印刷版卒業論文と全く異なる内容にしてはいけません。許されるのはあくまで完成度を高めるための軽微な修正に限ります。自主的に修正する場合も同様です。

成果の公表

卒業論文はみなさん自身の研究成果ではありますが、指導教員や本学類の教育の成果でもあります。また、卒業研究は多くの先行研究を踏まえて行われ、それら研究成果が入手できなければ、みなさんの卒業研究の進捗に大きく影響したはずです。みなさんの研究成果を組織的に保存し、必要とする人の利用に供することは学類の理念を実践することであり、本学類を卒業するみなさんにとっては社会的な義務であるとも言えます。

そのため、本学類では次の二つの方法で成果の公表を行います。ひとつは抄録の公開です。抄録は製本してみなさんに配布するだけでなく、本学附属図書館に納めます。また、本学類に興味を持つ、あるいはみなさんの研究テーマに興味を持つ誰もがアクセスできるように、電子版を学類の **Web** ページからも公開します。

第二は卒業論文本体の公表です。卒業研究をすすめるにあたって、同じ研究室の先輩の卒業論文を参考にした人は少なくないでしょう。抄録集から別の研究室で自分のテーマに近い研究が行われていたことを発見し、その卒業論文を探した人もいるかもしれません。また、研究室を決めるときに、その研究室の卒業論文を読んでみたいと思うこともあるでしょう。これまで、過去に提出された卒業論文を読む確実な方法はありませんでした。知識情報・図書館学類では、みなさんが提出した電子版の卒業論文を永続的に保存し、図書館情報学図書館内からのみアクセスできるという制限をつけて閲覧に供することとしました。想定される主な利用者はみなさんの後輩である知識情報・図書館学類生です。

なお、これから雑誌論文として投稿する等、一時的に公表を避けなければいけない事情がある場合は、論文の公表を猶予することができます。指導教員とも相談の上、論文提出と同時に公表猶予申請書を提出してください。猶予期間は原則 1 年ですが、経過措置として平成 30 (2018) 年度までは猶予申請を更新することができます。抄録にはそのような制度を設けていません。抄録、卒業論文ともにみなさんの著作物ですが、これから卒業研究を行う後輩たちのために、また、学類の英知を結集するために、みなさんの貴重な研究成果が必要です。本学類はこのような理由に基づき、卒業研究の蓄積と公開・公表を行うという方針を採用しています。

MEMO

資 料

情報学群履修細則

〔平成19年4月1日〕
情報学群部局細則第3号

改正 平成20年情報学群部局細則第1号
平成20年情報学群部局細則第2号
平成22年情報学群部局細則第1号
平成23年情報学群部局細則第1号
平成24年情報学群部局細則第1号
平成25年情報学群部局細則第1号
平成25年情報学群部局細則第2号
平成26年情報学群部局細則第1号
平成26年情報学群部局細則第2号
平成28年情報学群部局細則第1号

(趣旨)

第1条 この部局細則は、筑波大学学群学則（平成16年法人規則第10号。以下「学群学則」という。）第1条の2第1項、第25条、第25条の2第2項、第28条、第31条、第33条第1項、第35条第3項、第39条及び第40条の規定に基づき、情報学群における人材養成に関する目的その他教育研究上の目的（次条において「人材養成目的」という。）、教育課程の編成及びその履修に関し必要な事項を定めるものとする。

(人材養成目的)

第1条の2 学群学則第1条の2第1項の規定に基づき、情報学群では、知識と情報の記録、蓄積、共有、加工、利用といった諸活動にかかわる様々な情報技術やその原理となる科学を理解し、それらを使いこなす「21世紀の創造を担う人材」を養成する。また、科学的、技術的な側面だけでなく、人間の知的行動や社会的・文化的基盤についても十分な知見を身につけることを目指す。

2 各学類の人材養成目的は、次の表のとおりとする。

学 類	人材養成目的
情 報 科 学 類	現代社会の原動力である情報を生成・伝達・変換・活用するための工学的な技術やその原理となる数理や自然科学を理解し、それを実社会における様々な問題に適用して解決する実践力を備え、グローバルな視点に立って情報技術の発展を主体的に担うことができる人材を養成する。
情報メディア創成学類	これからのネットワーク情報社会を発展させるために不可欠な基盤的技術分野や、Web・映像・音楽などの多種多様な情報をコンテンツとして扱い流通させる分野などにおいて、革新的技術や科学的理論を創造的に生み出すことができる技術者、研究者を養成する。
知識情報・図書館学類	知識や情報を活用する能力を育み、関連する社会制度と技術の専門教育を行う。これらの教育を通じて、知識資源の形成、加工、流通、利用の発展に寄与する専門家と人間、社会、技術にわたる総合的視野や問題解決能力を持った職業人を育成する。

(主専攻分野)

第2条 学群学則第25条の部局細則で定める主専攻分野は、次の表のとおりとする。

学 類	主 専 攻 分 野
情 報 科 学 類	ソフトウェアサイエンス、情報システム、知能情報メディア
情報メディア創成学類	情報メディア創成
知識情報・図書館学類	知識科学、知識情報システム、情報資源経営

(履修方法)

第3条 学群学則第39条第1項の部局細則で定める情報学群における主専攻分野別の「専門科目」、「専門基礎科目」及び「基礎科目」ごとの卒業に必要な履修科目及び履修単位数は、別表第1のとおりとする。この場合において、「基礎科目」のうち、「共通科目・情報」の単位については、情報科学類にあつては「専門科目」、情報メディア創成学類及び知識情報・図書館学類にあつては「専門基礎科目」の履修により修得した単位をもって充てるものとする。

(主専攻分野の選択条件)

第4条 学群長は、学生の主専攻分野について、学生の希望を勘案し、入学した年次終了時以降に選考を行い、学類教育会議及び学群運営委員会の議を経て決定する。

- 2 学生が主専攻分野を選択するにあたって、あらかじめ、履修すべき授業科目及び単位数は、別表第2のとおりとする。

(履修科目の登録の上限)

第5条 学群学則第33条第1項の部局細則で定める履修科目の登録の上限は、45単位とする。ただし、編入学を許可された者の履修科目の登録の上限は、入学した年に限り55単位とする。これらの場合において、「教職に関する科目」は、この単位数に含めない。

- 2 学群学則第33条第2項の部局細則で定める上限を超えて履修科目の登録を認めることができる場合の要件及び単位数は、次の表のとおりとする。

学 類	要 件	単位数
情 報 科 学 類	(1) 前年度において卒業の要件として必要な単位を40単位以上修得し、その60%以上が「A+」又は「A」である者 (2) 学類長が特別な事情があると認めた者	55単位
情報メディア創成学類	(1) 前年度において卒業の要件として必要な単位を40単位以上修得し、履修申請を行った全科目の単位数(ただし教職に関する科目は除く)の60%以上が「A+」又は「A」である者 (2) 学類長が特別な事情があると認めた者	55単位
知識情報・図書館学類	(1) 前年度において卒業の要件として必要な単位を40単位以上修得し、その70%以上が「A+」又は「A」である者 (2) 学類長が特別な事情があると認めた者	55単位

(成績の評価)

第6条 学群学則第35条第3項の部局細則で定める合格及び不合格の評語を用いることができる授業科目は、「フレッシュマンセミナー」とする。

- 2 学群のGPA制度における学期GPA及び累積GPAの対象から除かれる科目は、次の表のとおりとする。

学 類	学期G P A及び累積G P A対象除外科目
情 報 科 学 類	基礎科目-関連科目
情報メディア創成学類	関連科目-自由科目
知識情報・図書館学類	なし

(早期卒業)

第7条 学群学則第40条に規定する早期卒業の対象者及び基準は、次の表のとおりとする。

学 類	対 象 者	基 準
情報科学類	2年次終了時において卒業の要件として必要な単位を85単位以上修得し、かつ、成績が上位10%以内にある者について、卒業の見込み等を総合的に勘案して判断する。	3年以上在学し、卒業要件として定めている126単位を修得した者
情報メディア創成学類	2年次終了時において卒業の要件として必要な単位を85単位以上修得し、その90%以上が「A+」又は「A」である者について、卒業の見込み等を総合的に勘案して判断する。	3年以上在学し、卒業要件として定められた所定単位を修得すること。
知識情報・図書館学類	秋学期終了時において卒業の要件として必要な単位を90単位以上修得し、成績が上位3位以内である者	卒業研究の内容が優秀であると認められた者

(雑則)

第8条 この部局細則に定めるもののほか、主専攻分野の選択時期、卒業研究の選択及び提出時期その他学類における授業科目の履修に関し必要な事項は、学類教育会議の議を経て、学類長が定め、学内に公示するものとする。

附 則

この部局細則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則 (平20. 1. 16 情報学群部局細則1号)

- 1 この部局細則は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 平成19年度入学者にあつては、この部局細則による改正後の別表第1及び別表第2の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則 (平20. 4. 1 情報学群部局細則2号)

- 1 この部局細則は、平成20年4月1日から施行する。

- 2 この部局細則の施行前に情報学群に入学した者に適用される履修方法等にあつては、なお従前の例による。

附 則（平 2 2 . 2 . 1 8 情報学群部局細則 1 号）

- 1 この部局細則は、平成 2 2 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この部局細則の施行前に情報学群に入学した者に適用される履修方法等にあつては、なお従前の例による。

附 則（平 2 3 . 2 . 1 7 情報学群部局細則 1 号）

- 1 この部局細則は、平成 2 3 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この部局細則の施行前に情報学群に入学した者に適用される履修方法等にあつては、なお従前の例による。

附 則（平 2 4 . 2 . 1 5 情報学群部局細則 1 号）

- 1 この部局細則は、平成 2 4 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この部局細則の施行前に情報学群に入学した者に適用される履修方法等にあつては、なお従前の例による。

附 則（平 2 5 . 1 . 1 6 情報学群部局細則 1 号）

- 1 この部局細則は、平成 2 5 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この部局細則の施行前に情報学群に入学した者に適用される履修方法等にあつては、なお従前の例による。

附 則（平 2 5 . 1 1 . 1 3 情報学群部局細則 2 号）

- 1 この部局細則は、平成 2 5 年 7 月 1 日から施行し、同年 4 月 1 日から適用する。
- 2 平成 2 4 年度以前に情報学群に入学した者に適用される履修方法等にあつては、なお従前の例による。

附 則（平 2 6 . 1 . 1 5 情報学群部局細則 1 号）

- 1 この部局細則は、平成 2 6 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この部局細則の施行前に情報学群に入学した者に適用される履修方法等にあつては、なお従前の例による。

附 則（平 2 6 . 1 2 . 2 4 情報学群部局細則 2 号）

- 1 この部局細則は、平成 2 7 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この部局細則の施行前に情報学群に入学した者に適用される履修方法等にあつては、なお従前の例による。

附 則（平 2 8 . 1 . 2 7 情報学群部局細則 1 号）

- 1 この部局細則は、平成 2 8 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この部局細則の施行前に情報学群に入学した者に適用される履修方法等にあつては、なお従前の例による。

(別表1 平成28年度入学対象)

卒業に必要な履修科目及び修得単位数															
主専攻分野	専門科目				専門基礎科目				共通科目				関連科目		
	必修科目	単位数	選択科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目
	単位数	単位数	単位数	単位数	単位数	単位数	単位数	単位数	単位数	単位数	単位数	単位数	単位数	単位数	単位数
知識科学	卒業研究	6	GE 6	20～28	情報基礎	2	GA 1	32～40	総合科目Ⅰ (フレキシブル・セミナーを含む)	2	総合科目ⅠⅡⅢ	0～12	—	0～12	GA、GE、共通科目、及び教職に関する科目以外
	専門英語B	1			情報基礎実習	1	GE 2		総合科目Ⅱ	5	総合科目Ⅲ	—	—	—	
	専門英語C	1			プログラミング演習Ⅰ	2			総合科目Ⅲ	1	外国語	—	—	—	
	知識科学実習	2			プログラミング演習Ⅱ	2			総合科目Ⅲ	2	国語	—	—	—	
					情報数学	2	GE 3	0～8	総合科目Ⅲ	2	芸術	—	—	—	
					統計	2			総合科目Ⅲ	2	芸術	—	—	—	
					哲学	2			総合科目Ⅲ	2	芸術	—	—	—	
					知識情報概論	2			総合科目Ⅲ	2	芸術	—	—	—	
					専門英語A	1.5			総合科目Ⅲ	2	芸術	—	—	—	
					知識情報演習Ⅰ	2			総合科目Ⅲ	2	芸術	—	—	—	
					知識情報演習Ⅱ	2			総合科目Ⅲ	2	芸術	—	—	—	
					知識情報演習Ⅲ	2			総合科目Ⅲ	2	芸術	—	—	—	
	単位合計	10		30～38		22.5		32～40		19		0～12	0	0	0
知識情報システム	卒業研究	6	GE 7	20～28	情報基礎	2	GA 1	32～40	総合科目Ⅰ (フレキシブル・セミナーを含む)	2	総合科目ⅠⅡⅢ	0～12	—	0～12	GA、GE、共通科目、及び教職に関する科目以外
	専門英語B	1			情報基礎実習	1	GE 2		総合科目Ⅱ	5	総合科目Ⅲ	—	—	—	
	専門英語C	1			プログラミング演習Ⅰ	2			総合科目Ⅲ	1	外国語	—	—	—	
	知識情報システム実習	2			プログラミング演習Ⅱ	2			総合科目Ⅲ	2	国語	—	—	—	
					情報数学	2	GE 3	0～8	総合科目Ⅲ	2	芸術	—	—	—	
					統計	2			総合科目Ⅲ	2	芸術	—	—	—	
					哲学	2			総合科目Ⅲ	2	芸術	—	—	—	
					知識情報概論	2			総合科目Ⅲ	2	芸術	—	—	—	
					専門英語A	1.5			総合科目Ⅲ	2	芸術	—	—	—	
					知識情報演習Ⅰ	2			総合科目Ⅲ	2	芸術	—	—	—	
					知識情報演習Ⅱ	2			総合科目Ⅲ	2	芸術	—	—	—	
					知識情報演習Ⅲ	2			総合科目Ⅲ	2	芸術	—	—	—	
	単位合計	10		30～38		22.5		32～40		19		0～12	0	0	0
合 計															
														必修科目	51.5
														選択科目	74
														自由科目	0
														単位数	125.5

(別表 1 平成 27 年度入学者・平成 29 年度編入学者対象)

卒業に必要な履修科目及び修得単位数																							
専門科目				専門基礎科目				基礎科目				関連科目				計			合計				
												必修科目	選択科目	自由科目	単位数								
主専攻分野	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数					
	卒業研究	6	GE 6	20～28	—	情報基礎	2	GA 1 GE 2	32～40	—	総合科目Ⅰ (フレッシュマン・セミナーを含む)	2	総合科目Ⅰ 総合科目Ⅱ 総合科目Ⅲ	0～12	—	GA、GE、共通科目、及び教職に関する科目以外	—	51.5	74	0	125.5		
	専門英語 B	1			—	情報基礎実習	1				総合科目Ⅱ (フレッシュマン・セミナーを含む)	5	総合科目Ⅱ	1	総合科目Ⅱ 総合科目Ⅲ	0～12	—						
	専門英語 C	1			—	プログラミング演習Ⅰ	2				総合科目Ⅲ	1	総合科目Ⅲ	1	総合科目Ⅲ	0～12	—						
	知識科学実習	2			—	プログラミング演習Ⅱ	2				総合科目Ⅱ	5	総合科目Ⅱ	5	総合科目Ⅱ 総合科目Ⅲ	0～12	—						
					8～16	情報数学	2	GE 3	0～8			総合科目Ⅲ	1	総合科目Ⅲ	1	総合科目Ⅲ	0～12	—					
						統計	2					体育	2	体育	6	外国語 国語 芸術							
						哲学	2					第1外国語 (英語)	3	第1外国語 (英語)	3	第2外国語 (初修外国語)							
						専門英語 A	1.5					第2外国語 (初修外国語)	3	第2外国語 (初修外国語)	3								
					2	知識情報演習Ⅰ	2																
					知識情報演習Ⅱ	2																	
					知識情報演習Ⅲ	2																	
単位合計				10			30～38	0		22.5		32～40	0		19		0～12	0		51.5	74	0	125.5
知識情報システム	卒業研究	6	GE 7	20～28	—	情報基礎	2	GA 1 GE 2	32～40	—	総合科目Ⅰ (フレッシュマン・セミナーを含む)	2	総合科目Ⅰ 総合科目Ⅱ 総合科目Ⅲ	0～12	—	GA、GE、共通科目、及び教職に関する科目以外	—	51.5	74	0	125.5		
	専門英語 B	1			—	情報基礎実習	1				総合科目Ⅱ (フレッシュマン・セミナーを含む)	5	総合科目Ⅱ	1	総合科目Ⅱ 総合科目Ⅲ	0～12	—						
	専門英語 C	1			—	プログラミング演習Ⅰ	2				総合科目Ⅲ	1	総合科目Ⅲ	1	総合科目Ⅲ	0～12	—						
	知識情報システム実習	2			—	プログラミング演習Ⅱ	2				総合科目Ⅱ	5	総合科目Ⅱ	5	総合科目Ⅱ 総合科目Ⅲ	0～12	—						
					8～16	情報数学	2	GE 3	0～8			総合科目Ⅲ	1	総合科目Ⅲ	1	総合科目Ⅲ	0～12	—					
						統計	2					体育	2	体育	6	外国語 国語 芸術							
						哲学	2					第1外国語 (英語)	3	第1外国語 (英語)	3	第2外国語 (初修外国語)							
						専門英語 A	1.5					第2外国語 (初修外国語)	3	第2外国語 (初修外国語)	3								
					2	知識情報演習Ⅰ	2																
						知識情報演習Ⅱ	2																
					知識情報演習Ⅲ	2																	
単位合計				10			30～38	0		22.5		32～40	0		19		0～12	0		51.5	74	0	125.5

卒業に必要な履修科目及び修得単位数																				
主専攻分野	専門科目					専門基礎科目					基礎科目					科目				合計
	必修 科目数	単 位数	選択 科目数	単 位数	自由 科目数	必修 科目数	単 位数	選択 科目数	単 位数	自由 科目数	共通科目			連 科目			必修 科目数	選択 科目数	自由 科目数	
											必修 科目数	単 位数	選択 科目数	必修 科目数	単 位数	選択 科目数				
情報資源経営	卒業研究	6	GE 8	20～28	—	情報基礎	2	GA 1	32～40	—	総合科目Ⅰ (フレッシュマン・セミナーを含む)	2	総合科目Ⅰ	0～12	—	—	GA、GE、共通科目、及び教職に関する科目以外	51.5	74	0
	専門英語B	1				情報基礎実習	1	GE 2			総合科目Ⅱ	2	総合科目Ⅱ							
	専門英語C	1				プログラミング演習Ⅰ	2				総合科目Ⅲ	5	総合科目Ⅲ							
	情報資源経営実習	2				プログラミング演習Ⅱ	2				総合科目Ⅱ	5	総合科目Ⅱ							
						情報数学	2	GE 3	0～8		総合科目Ⅲ	1	外国語							
						統計	2				体育	2	国語							
					哲学	2					第1外国語 (英語)	6	芸術							
					知識情報概論	2					第2外国語 (初修外国語)	3								
					専門英語A	1.5														
					知識情報演習Ⅰ	2														
				知識情報演習Ⅱ	2															
				知識情報演習Ⅲ	2															
単位合計	10			30～38	0		22.5		32～40	0		19		0～12	0	0		51.5	74	0
125.5																				
情報資源経営																				

(注) 1. この表に掲げる単位数は、卒業に必要な最少の数値を表す。
2. 同一の授業科目を重複して、他の科目欄の授業科目とすること又は同一の科目欄の他の授業科目とすることはできない。
3. 各科目欄に掲げる記号及び番号は授業科目番号で、当該記号及び番号で始まる授業科目のグループを表す。
4. 「総合科目」、「体育」、「外国語」、「国語」及び「芸術」は、それぞれ当該授業科目として開設しているものの中から、「基礎科目（共通科目）の履修方法」にしたがって履修する。
5. 総合科目Ⅱについては、科目群A及び科目群Bのそれぞれから2単位を含む合計5単位を必修とする。
6. 編入学又は転入学を許可された者及び入学前又は入学後に他大学等において授業科目を履修し、又は学修を行った者で、他大学等において「専門英語A」に相当する科目を履修したものに係る当該授業科目の卒業に必要な修得単位数は、この表の規定にかかわらず、次のとおりとする。
専門英語A 1単位
7. 知識情報・図書館学類長が教育上有益と認める場合は、この表の規定にかかわらず、第1外国語として英語以外の外国語の選択を認めることがある。
8. 卒業研究の履修に当たっては、卒業に必要な履修科目の中から合計90単位以上修得している（卒業に必要な未修得単位が35.5単位以下となっている）こととする。

(注：平成27年度以降の開講形態に合わせて修正)

(別表 1 平成 23～26 年度入学者・平成 25～28 年度編入学者対象)

卒業に必要な履修科目及び修得単位数													
主専攻分野	専門科目				専門基礎科目				基礎科目				合計
	必修科目 単位数	選択科目 単位数	自由科目 単位数	単位数	必修科目 単位数	選択科目 単位数	自由科目 単位数	単位数	必修科目 単位数	選択科目 単位数	自由科目 単位数	単位数	
知識科学	卒業研究	6	GE 6	20	GE 4	0～8	情報基礎	2	GE 2	32	GE 2	0～8	125.5
	専門英語 B	1	GE 6		GE 6		情報基礎実習	1	GA		GE 3		
	専門英語 C	1	GE 7		GE 7		プログラミング演習 I	2			GA		
	知識科学実習	2	GE 8		GE 8		プログラミング演習 II	2					
			GE 4	8			情報数学	2					
			GE 7				統計	2					
			GE 8				哲学	2					
			知識情報特論	2			知識情報概論	2					
							専門英語 A	1.5					
							知識情報演習 I	2					
知識情報システム	単位合計	10		30		0～8		22.5		32		0～8	125.5
	卒業研究	6	GE 7	20	GE 4	0～8	情報基礎	2	GE 2		GE 2	0～8	
	専門英語 B	1			GE 6		情報基礎実習	1	GA		GE 3		
	専門英語 C	1			GE 7		プログラミング演習 I	2			GA		
	知識情報システム実習	2			GE 8		プログラミング演習 II	2					
			GE 4	8			情報数学	2					
			GE 6				統計	2					
			GE 8				哲学	2					
			知識情報特論	2			知識情報概論	2					
							専門英語 A	1.5					
知識情報システム	単位合計	10		30		0～8		22.5		32		0～8	125.5
	卒業研究	6	GE 7	20	GE 4	0～8	情報基礎	2	GE 2		GE 2	0～8	
	専門英語 B	1			GE 6		情報基礎実習	1	GA		GE 3		
	専門英語 C	1			GE 7		プログラミング演習 I	2			GA		
	知識情報システム実習	2			GE 8		プログラミング演習 II	2					
			GE 4	8			情報数学	2					
			GE 6				統計	2					
			GE 8				哲学	2					
			知識情報特論	2			知識情報概論	2					
							専門英語 A	1.5					
知識情報システム	単位合計	10		30		0～8		22.5		32		0～8	125.5
	卒業研究	6	GE 7	20	GE 4	0～8	情報基礎	2	GE 2		GE 2	0～8	
	専門英語 B	1			GE 6		情報基礎実習	1	GA		GE 3		
	専門英語 C	1			GE 7		プログラミング演習 I	2			GA		
	知識情報システム実習	2			GE 8		プログラミング演習 II	2					
			GE 4	8			情報数学	2					
			GE 6				統計	2					
			GE 8				哲学	2					
			知識情報特論	2			知識情報概論	2					
							専門英語 A	1.5					
知識情報システム	単位合計	10		30		0～8		22.5		32		0～8	125.5
	卒業研究	6	GE 7	20	GE 4	0～8	情報基礎	2	GE 2		GE 2	0～8	
	専門英語 B	1			GE 6		情報基礎実習	1	GA		GE 3		
	専門英語 C	1			GE 7		プログラミング演習 I	2			GA		
	知識情報システム実習	2			GE 8		プログラミング演習 II	2					
			GE 4	8			情報数学	2					
			GE 6				統計	2					
			GE 8				哲学	2					
			知識情報特論	2			知識情報概論	2					
							専門英語 A	1.5					

卒業に必要な履修科目及び修得単位数																				
主専攻分野	専門科目					専門基礎科目					基礎科目					計		合計		
	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	共通科目			関連科目						
											必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目		単位数	選択科目
情報資源経営実習	卒業研究	6	GE 8	20	GE 4	情報基礎	2	GE 2	32	GE 2	0～8	総合科目Ⅰ (フレッシュマン・セミナーを含む)	2	—	総合科目Ⅰ 総合科目Ⅱ 体育 外国語 国語 芸術	—	0～12	12	125.5	
	専門英語 B	1			GE 6	情報基礎実習	1	GA		GE 3										
	専門英語 C	1			GE 7	プログラミング演習Ⅰ	2			GA										
	情報資源経営実習	2			GE 8	プログラミング演習Ⅱ	2						総合科目Ⅱ	6						
						情報数学	2						体育	2						
						統計	2						第一外国語 (英語)	6						
						GE 7	哲学	2												
						知識情報概論	2													
						専門英語 A	1.5						第二外国語 (初修外国語)	3						
						知識情報演習Ⅰ	2													
					知識情報演習Ⅱ	2														
					知識情報演習Ⅲ	2														
単位合計	10	30				22.5		32	0～8		19	0		0～12	0		0～12	62	125.5	

- (注) 1. この表に掲げる単位数は、卒業に必要な最少の数値を表す。
2. 同一の授業科目を重複して、他の科目欄の授業科目とすること又は同一の科目欄の他の授業科目とすることはできない。
3. 各科目欄に掲げる記号及び番号は、授業科目番号で、当該記号及び番号で始まる授業科目のグループを表す。
4. 「総合科目」、「体育」、「外国語」、「国語」及び「芸術」は、それぞれ当該授業科目として開設しているものの中から、「基礎科目（共通科目）の履修方法」にしたがって履修する。
5. 総合科目Ⅱについては、科目群 A 及び科目群 B のそれぞれから 2 単位を含む合計 6 単位を必修とする。
6. 編入学又は転入学を許可された者及び入学前又は入学後に他大学等において授業科目を履修し、又は学修を行った者で、他大学等において「総合科目」、「専門英語 A」に相当する科目を履修したものに係る当該授業科目の卒業に必要な修得単位数は、この表の規定にかかわらず、次のとおりとする。
総合科目Ⅰ及びⅡ 8 単位
専門英語 A 1 単位
7. 卒業研究の履修に当たっては、卒業に必要な履修科目の中から合計 90 単位以上修得している（卒業に必要な未修得単位数が 35.5 単位以下となっている）こと。

(注 平成 27 年度以降の開講形態に合わせて修正)

情報学群 知識情報・図書館学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数			
		中学校			
社会	日本史及び外国史	1 以上	日本史及び外国史	(日本語・日本文化学類開設) ◎日本の歴史概論*, ◎東洋の歴史と文化* (人文学類開設) ◎ <u>ヨーロッパ史概説 a・b</u> , ◎ <u>オリエント史概説 a・b</u> (知識情報・図書館学類開設) 日本図書館学, 中国図書館学, 図書館文化史論	*2科目と、二重下線4科目から1科目の計3科目必修
	地理学（地誌を含む。）	1 以上	地理学（地誌を含む。）	(地球学類開設) ◎人文地理学, ◎地誌学 (知識情報・図書館学類開設) 教育文化政策	
	「法律学, 政治学」	1 以上	「法律学, 政治学」	(知識情報・図書館学類開設) ◎情報法, 知的財産権論 A, 図書館情報法制度論	
	「社会学, 経済学」	1 以上	「社会学, 経済学」	(知識情報・図書館学類開設) ◎メディア社会学, 量的調査法, メディア社会文化論, 質的調査法, 情報行動論, 情報経済論, 経営・組織論	
	「哲学, 倫理学, 宗教学」	1 以上	「哲学, 倫理学, 宗教学」	(知識情報・図書館学類開設) ◎哲学, 知識論	
合 計 (中学一種)		2 0			

(注) 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

情報学群 知識情報・図書館学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数			
		高等学校			
公 民	「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	1 以上	「法律学(国際法を含む。)、政治学（国際政治を含む。）」	(知識情報・図書館学類開設) ◎情報法, 知的財産権論 A, 図書館情報法制度論	
	「社会学, 経済学（国際経済を含む。）」	1 以上	「社会学, 経済学（国際経済を含む。）」	(知識情報・図書館学類開設) ◎メディア社会学, 量的調査法, メディア社会文化論, 質的調査法, 情報行動論, 情報経済論, 経営・組織論	
	「哲学, 倫理学, 宗教学, 心理学」	1 以上	「哲学, 倫理学, 宗教学, 心理学」	(知識情報・図書館学類開設) ◎哲学, 知識論, メディア教育の実践と評価	
合 計 (高校一種)		2 0			

(注) 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

情報学群 知識情報・図書館学類

免許教科	免許法に規定する科目			区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数				
		中学校	高等学校			
数	代数学	1 以上	1 以上	代数学	(知識情報・図書館学類開設) ◎基礎数学 B, 情報数学	
	幾何学	1 以上	1 以上	幾何学	(情報メディア創成学類開設) ◎CG 基礎, 情報数学Ⅲ, インタラクティブ CG	
	解析学	1 以上	1 以上	解析学	(知識情報・図書館学類開設) ◎基礎数学 A (情報科学類開設) 数値計算法, 解析学Ⅲ, 複素関数論	
学	「確率論, 統計学」	1 以上	1 以上	「確率論, 統計学」	(知識情報・図書館学類開設) ◎統計, 多変量解析, データマイニング	
	コンピュータ	1 以上	1 以上	コンピュータ	(知識情報・図書館学類開設) ◎データ構造とアルゴリズム, 知識情報演習Ⅲ	
合 計 (中学一種, 高校一種)		2 0	2 0			

(注) 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

情報学群 知識情報・図書館学類

免許 教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数			
		高等学校			
情 報	情報社会及び情報倫理	1 以上	情報社会及び情報倫理	(情報学群開設) ◎情報社会と法制度, 知的財産概論	
	コンピュータ及び情報処理 (実習を含む。)	1 以上	コンピュータ及び情報処理 (実習を含む。)	(知識情報・図書館学類開設) ◎プログラミング演習Ⅰ, データ表現と処理, コンピュータシステムとネットワーク	
	情報システム (実習を含む。)	1 以上	情報システム (実習を含む。)	(知識情報・図書館学類開設) ◎情報検索システム 情報システム概説, データベース概説, 自然言語解析基礎	
	情報通信ネットワーク (実習を含む。)	1 以上	情報通信ネットワーク (実習を含む。)	(知識情報・図書館学類開設) ◎Web プログラミング, クラウドコンピューティング	
	マルチメディア表現及び技術 (実習を含む。)	1 以上	マルチメディア表現及び技術 (実習を含む。)	(知識情報・図書館学類開設) ◎マルチメディアシステム, ◎プログラミング演習Ⅱ, デジタルドキュメント, 情報デザインとインタフェース, マークアップ言語	
	情報と職業	1 以上	情報と職業	(教職科目その他開設) ◎情報と職業 (知識情報・図書館学類開設) インターンシップ	
合 計 (高校一種)		2 0			

(注) 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

大学において修得すべき図書館に関する科目

区分	図書館法施行規則に定める科目		本学における開設授業科目			備考
	科目	単位数	授業科目	単位数	開設学群・学類等	
甲群 必修11科目・22単位	生涯学習概論	2	生涯学習と図書館	2	知識情報・図書館学類	
	図書館概論	2	図書館概論	2		
	図書館制度・経営論	2	パブリックガバナンス（平成28年度～）	2		
			経営・組織論（～平成27年度）	2		2科目を履修
			図書館情報法制度論	2		
	図書館情報技術論	2	情報基礎	2		
	図書館サービス概論	2	情報サービス経営論	2		
	情報サービス論	2	情報探索論	2		いずれか1科目選択
			情報サービス構成論	2		
	児童サービス論	2	読書と豊かな人間性	2		
	情報サービス演習	2	知識情報演習Ⅱ	2		2科目を履修
			情報基礎実習	1		
	図書館情報資源概論	2	コレクションとアクセス	2		
乙群 選択2科目・2単位以上	情報資源組織論	2	知識資源組織化論	2	知識情報・図書館学類	
	情報資源組織演習	2	知識情報演習Ⅰ	2		2科目を履修
			知識情報演習Ⅲ	2		
	図書館基礎特論	1	図書館論	2		
	図書館サービス特論	1	デジタルライブラリ	2		
	図書館情報資源特論	1	日本図書学	2		いずれか1科目選択
			中国図書学	2		
			知識資源の分析	2		
			知識資源の用語管理	2		
			学術メディア論	2		
			デジタルドキュメント	2		
	図書・図書館史	1	図書館文化史論	2		
	図書館施設論	1	図書館建築論	2		
	図書館実習	1	インターンシップ	2		

（備考）司書資格を取得した者には「資格取得証明書」を発行します。卒業後に教育推進課に申し込んでください。
他学で修得した単位と合算して司書資格を取得する場合は、本学で修得した図書館に関する科目について「単位修得証明書」を発行します。

大学において修得すべき司書教諭講習に相当する科目

学校図書館司書教諭講習規程に定める科目		本学における開設授業科目			備考
科 目	単位数	授 業 科 目	単位数	開設学類	
学校経営と学校図書館	2	学校図書館論	2	知識情報・ 図書館学類	
学校図書館メディアの構成	2	学校図書館メディアの構成	2		
学習指導と学校図書館	2	学習指導と学校図書館	2		
読書と豊かな人間性	2	読書と豊かな人間性	2		
情報メディアの活用	2	情報メディアの活用	2		

(備考)

司書教諭講習に相当する科目として修得した単位は、各学群の履修細則の定めるところにより、卒業要件の単位として算入できます。

司書教諭の資格を取得するためには、司書教諭講習に相当する科目を全て修得した後に、学校図書館法第5条第3項の規定に基づく「学校図書館司書教諭講習」に、書類参加の手続きが必要です。手続方法については、掲示でお知らせします。

大学が単位を与える学修一覧

検 定 名	対象となる級等	認定対象科目
(財)日本英語検定協会が実施する実用英語技能検定	1級・準1級	総合英語 (1.5単位) ※注1
TOEFL		
ペーパー版テストの点数	550点以上	
コンピュータ版テスト	213点以上	
インターネット版TOEFL	79点以上	
TOEIC	730点以上	ドイツ語基礎A, B (1.5単位)
(財)ドイツ語学文学振興協会が実施するドイツ語技能検定	1級・準1級・2級・3級	
ゲーテ・インスティトゥートが実施する検定試験	基礎統一試験以上	フランス語基礎A, B (1.5単位)
(財)フランス語教育振興協会が実施する 実用フランス語技能検定	1級・準1級・2級・3級	
ロシア語検定試験実行委員会が実施する ロシア語検定試験	第4・第3・第2・第1・基礎	ロシア語基礎A, B (1.5単位)
(財)日本スペイン協会が実施するスペイン語技能検定	1級・2級・3級・4級・5級	スペイン語基礎A, B (1.5単位)

- (注) 1 実用英語技能検定及びTOEFL又はTOEICは、いずれか1つの試験についてのみ認定する。
2 この表に掲げるもののほか、専門基礎科目及び専門科目として認定する単位は、45時間の学修をもって換算する単位とする。
3 共通科目等開設組織等において定める基準を最低の基準とし、それ以上の基準により各学類・専門学群において与えることができる単位を表す。
4 ゲーテ・インスティトゥートが実施する検定試験の「基礎統一試験」以上の試験とは「職業ドイツ語検定試験」「ドイツ語中級統一試験」「国際ビジネスドイツ語検定試験」「ドイツ語上級統一試験」「ドイツ語小ディプロム試験」及び「ドイツ語大ディプロム試験」を表す。
5 ロシア語検定における認定の基準は、検定試験結果の基礎レベル以上とする。
(第4レベル、第3レベル、第2レベル、第1レベル及び基礎レベル)

テクニカルコミュニケーター専門課程に対応した開設科目一覧

TC 専門課程における分野		知識情報・図書館学類における開設科目	
知能と能力の分野	単位数	科目名	単位数
TC 基礎	2	テクニカルコミュニケーション	2
情報収集と分析	2	量的調査法	2
		質的調査法	2
企画・設計	2	知識発見基礎論	2
情報アーキテクチャー	2	情報基礎	2
		情報システム概説	2
		デジタルドキュメント	2
制作管理・ディレクション	2	知識科学実習	2
		知識情報システム実習	2
		情報資源経営実習	2
デザイン・表現設計	2	知識情報演習 II	2
		情報デザインとインタフェース	2
ライティング	2	情報基礎実習	1
		情報リテラシ実習	1
	2	専門英語 B	1
		専門英語 C	1
周辺分野	2	知的財産概論	2
		国際インターンシップ	2

テクニカルコミュニケーター専門課程は複数の分野から構成されており、上の表には、各分野に対応する知識情報・図書館学類の開設科目が示してあります。各分野の必要単位数を充足するよう表中の 18 単位以上の開設科目を履修し、協会に申請することで、テクニカルコミュニケーター専門課程修了認定証を得ることができます。ただし、平成 24 年度以降の履修であることが必要です。また、テクニカルコミュニケーター専門課程修了認定は他大学で取得した単位を合わせての申請も可能です。

索 引

	氏名		職位	研究室	メールアドレス	担当科目	その他
1	いけうち あつし 池内 淳	Ikeuchi Atsushi	准教授	7D413	atsushi@slis	公共経済学 情報サービス経営論	
2	いしい かおり 石井 夏生利	Ishii Kaori	准教授	7D509	kaoriish@slis	(サバティカル)	
3	いづむら ひろし 逸村 裕	Itsumura Hiroshi	教授	7D313	hits@slis	情報基礎実習-1,-2 学術情報基盤論	
4	いわさわ まりこ 岩澤 まり子	Iwasawa Mariko	教授	7D304	miwasawa@slis	インターンシップ 情報探索論 医療情報論 特許情報論	
5	うだ のりひこ 宇陀 則彦	Uda Norihiko	准教授	7D210	uda@slis	知識情報概論 デジタルライブラリ デジタルキュレーション	
6	おおさわ ふみと 大澤 文人	Osawa Fumito	助教	7D115	osawa@slis	プログラミング演習II-3 多変量解析 情報メディアの活用 知識情報特論I 知識情報特論II	4-2担任
7	おおば いちろう 大庭 一郎	Ohba Ichiro	講師	7D113	iohba@slis	経営・組織論 情報サービス構成論	
8	こいずみ まさのり 小泉 公乃	Koizumi Masanori	助教	7D310	koizumi@slis	情報基礎実習-1,-2 パブリックガバナンス	
9	ごとう よしひろ 後藤 嘉宏	Goto Yoshihiro	教授	7D513	ygoto@slis	メディア社会学 メディア社会文化論	
10	さかぐち てつお 阪口 哲男	Sakaguchi Tetsuo	准教授	7D312	saka@slis	コンピュータシステムとネットワーク Webプログラミング 知的探求の世界I-5 知識情報特論I 知識情報特論II	4-3担任
11	さとう てつじ 佐藤 哲司	Satoh Tetsuji	教授	7D205	satoh@slis	情報システム概説 テキスト処理 知的探求の世界I-2 知的探求の世界II-2	専攻長
12	さんなみ ちほみ 三波 千穂美	Sannami Chihomi	講師	7D302	sannami@slis	学校図書館メディアの構成 テクニカルコミュニケーション サイエンスコミュニケーション	3-4担任
13	じょうほ ひでお 上保 秀夫	Joho Hideo	准教授	7D408	hideo@slis	レファレンスサイエンス 知的探求の世界I-4	3-3担任
14	しらい てつや 白井 哲哉	Shirai Tetsuya	教授	7D407	tetsushi@slis	テキスト解釈-1 アーカイブズの構築 デジタルキュレーション	
15	すずき かなえ 鈴木 佳苗	Suzuki Kanae	准教授	7D112	kanae@slis	インターンシップ 読書と豊かな人間性 メディア教育の実践と評価 知識情報特論I 知識情報特論II	4-4担任
16	すずき のぶたか 鈴木 伸崇	Suzuki Nobutaka	准教授	7D204	nsuzuki@slis	情報基礎 知識情報演習I-2 データ表現と処理	
17	せき ようへい 関 洋平	Seki Yohei	准教授	7D213	yohei@slis	知識情報演習III-1 自然言語解析基礎 情報検索システム	2-2担任
18	たかく まさお 髙久 雅生	Takaku Masao	准教授	7D208	masao@slis	統計 デジタルドキュメント	2-3担任
19	たむら はじめ 田村 肇	Tamura Hajime	准教授	7D311	tamura@slis	情報経済論	
20	つじ けいた 辻 慶太	Tsuji Keita	准教授	7D512	keita@slis	知識情報演習II-2 知識情報演習III-2 知識形成論	
21	つじ やすあき 辻 泰明	Tsuji Yasuaki	教授	7D514	tsujiy@slis	フレッシュマン・セミナー 情報リテラシ実習 専門英語C-3 映像メディア論	1-2担任
22	てづか たろう 手塚 太郎	Taro Tezuka	准教授	7D215	tezuka@slis	知識情報演習I-1 国際インターンシップ データベース概説 ソフトウェア工学	
23	てるやま じゅんこ 照山 絢子	Teruyama Junko	助教	7D305	teruyama@slis	質的調査法 インターンシップ 知識コミュニケーション	
24	ときい まき 時井 真紀	Tokii Maki	講師	7D203	tmaki@slis	フレッシュマン・セミナー 情報リテラシ実習 プログラミング演習I-1,-2 情報デザインとインタフェース	1-4担任

	氏名		職位	研究室	メールアドレス	担当科目	その他
25	としもり あつし 歳森 敦	Toshimori Atsushi	教授	学類長室	tosimori@slis	体験型システム開発A 体験型システム開発B 量的調査法 コミュニティ情報論	学類長
26	どんかい きおり 呑海 沙織	Donkai Saori	教授	7D403	donkai@slis	知識情報演習I-1, -2 図書館文化史論	
27	なかやま しんいち 中山 伸一	Nakayama Shin-ichi	教授	7D410	nakayama@slis	知識発見基礎論	
28	はせがわ ひでひこ 長谷川 秀彦	Hasegawa Hidehiko	教授	学群長室	hasegawa@slis	データマイニング	学群長
29	はら あつゆき 原 淳之	Hara Atsuyuki	助教	7D406	ahara@slis	知識情報演習II-1, -2 インターンシップ 図書館論	
30	バールイシェフ エドワルド	Baryshev Eduard	助教	7D415	baryshev@slis	専門英語B-2 アーカイブズの利用 デジタルキュレーション	
31	ひらくえ ゆうじ 平久江 祐司	Hirakue Yuji	教授	7D404	hirakue@slis	学習指導と学校図書館 学校図書館論 インターンシップ	3-2担任
32	まえしろ てつや 真栄城 哲也	Maeshiro Tetsuya	准教授	7D409	maeshiro@slis	プログラミング演習II-1, -2 生命情報学	3-5担任
33	まつばやし まみこ 松林 麻美子	Matsubayashi Mamiko	講師	7D111	mamiko@slis	情報行動論 学術メディア論	
34	まつむら あつし 松村 敦	Matsumura Atsushi	助教	7D212	matsumur@slis	プログラミング演習I-1, -2 専門英語C-2 情報サービスシステム	
35	まつもと こういち 松本 浩一	Matsumoto Koichi	教授	7D301	matsuko@slis	テキスト解釈-2 中国図書学	
36	まつもと まこと 松本 紳	Matsumoto Makoto	教授	系長室	amy@slis	マルチメディアシステム	系長
37	みずしま えいじ 水嶋 英治	Mizushima Eiji	教授	7D303	mizushima@slis	知識情報演習III-2 知識資源組織化論 国際インターンシップ 知識資源の記述 デジタルキュレーション	3-1担任*
38	みづうえ ちえこ 溝上 智恵子	Mizoue Chieko	教授	研究科長室	mizoue@slis	生涯学習と図書館 国際インターンシップ 教育文化政策 知識情報特論I 知識情報特論II	研究科長 4-5担任
39	みどりかわ のぶゆき 緑川 信之	Midorikawa Nobuyuki	教授	7D306	midorika@slis	知識情報演習III-1 知識資源組織化論 知識資源の分析 知識情報特論I 知識情報特論II	4-1担任*
40	むらい まいこ 村井 麻衣子	Murai Maiko	准教授	7D506	myco@slis	知的財産概論 知的財産権論A	
41	もりつぐ しゅういち 森継 修一	Moritsugu Shuichi	教授	7D214	moritsug@slis	基礎数学B データ構造とアルゴリズム	
42	ゆ へいたお 于 海涛	Yu, Haitao	助教	—	yuhaitao@slis	(グラスゴー大学派遣中)	
43	よう しょうゆ 叶 少瑜	Ye, Shaoyu	助教	7D206	shaoyu@slis	国際インターンシップ 専門英語C-1 ソーシャルメディア分析	
44	よこやま みきこ 横山 幹子	Yokoyama Mikiko	准教授	7D405	mikiko@slis	哲学 知識論	2-4担任
45	よしかね ふゆき 芳鐘 冬樹	Yoshikane Fuyuki	教授	7D414	fuyuki@slis	フレッシュマン・セミナー 情報リテラシ実習 知識情報演習II-1 専門英語B-1 国際インターンシップ 情報評価	1-1担任*
46	よしだ ゆうこ 吉田 右子	Yoshida Yuko	教授	7D116	yyoshida@slis	図書館概論 インターンシップ コレクションとアクセス	2-1担任*
47	ロー, パトリック	Lo, Patrick	准教授	7D315	plo@slis	専門英語B-3 Comparative Study on Library and Information Services	
48	わかばやし けい 若林 啓	Wakabayashi Kei	助教	7D207	kwakaba@slis	プログラミング演習II-1, -2 クラウドコンピューティング	
49	わたぬき とよあき 綿拔 豊昭	Watanuki Toyoaki	教授	7D511	wata@slis	フレッシュマン・セミナー 情報リテラシ実習 テキスト解釈-3 日本図書学	センター長 1-3担任
50	おちあい よういち 落合 陽一	Ochiai Yoichi	助教	7D515	wizard@slis	メディアアート	兼任教員
51	もりしま あつゆき 森嶋 厚行	Morishima Atsuyuki	教授	7D507	mori@slis	データベース技術	兼任教員

	氏名		職位	研究室	メールアドレス	担当科目	その他
52	いわまる よしあき 岩丸 良明	Iwamaru Yoshiaki	非常勤講師	—	学群教務に照会	経営情報システム論	
53	えのまえ としはる 江前 敏晴	Enomae Toshiharu	教授	—	学群教務に照会	デジタルキュレーション	
54	かんだ ともひろ 神田 知宏	Kanda Tomohiro	非常勤講師	—	学群教務に照会	情報社会と法制度 情報法	
55	さかじょう みつお 阪上 晃庸	Sakajo Mitsunobu	非常勤講師	—	学群教務に照会	特許情報論	
56	すぎもと しげお 杉本 重雄	Sugimoto Shigeo	教授	7D416	sugimoto@slis	マークアップ言語	
57	たかはし しん 高橋 伸	Takahashi Shin	准教授	3F906	shin@cs	ヒューマンインタフェース	
58	ながもり みつはる 永森 光晴	Nagamori Mitsuharu	講師	7D412	nagamori@slis	マークアップ言語	
59	はせべ いくこ 長谷部 郁子	Hasebe Ikuko	非常勤講師	—	学群教務に照会	専門英語A-1,-2	
60	ひらゆ あつし 平湯 あつし	Hirayu Atsushi	非常勤講師	—	学群教務に照会	テクニカルコミュニケーション	
61	ふしみ たかやす 伏見 卓恭	Fushimi Takayasu	非常勤講師	—	学群教務に照会	基礎数学A 情報数学	
62	ポージー, マーティン Pauly, Martin Edmund	Pauly, Martin Edmund	非常勤講師	—	学群教務に照会	専門英語A-3, -4	

*メールアドレスのドメイン部は「.tsukuba.ac.jp」を省略. 例えば「gakumu-k@slis」は「gakumu-k@slis.tsukuba.ac.jp」が正しいメールアドレスです.
非常勤講師へは原則として授業の前後に会うか, 学群教務を経由して連絡してください.

科目名索引

〔A-Z〕

Comparative Study on Library and Information Services.....	158
Web プログラミング	132

〔あ行〕

アーカイブズの構築	129, 170
アーカイブズの利用	128, 171
医療情報論	101
インターンシップ	83
映像メディア論	166

〔か行〕

学習指導と学校図書館.....	79
学術情報基盤論	149
学術メディア論	111
学校図書館メディアの構成.....	80
学校図書館論	162
基礎数学 A.....	41
基礎数学 B.....	58
教育文化政策	160
クラウドコンピューティング.....	140
経営情報システム論	127, 150
経営・組織論	72
公共経済学	70
国際インターンシップ.....	84
コミュニティ情報論	112
コレクションとアクセス.....	157
コンピュータシステムとネットワーク.....	67

〔さ行〕

サイエンスコミュニケーション.....	103
自然言語解析基礎	68
質的調査法	62
生涯学習と図書館	71
情報基礎	29
情報基礎実習-1	30
情報基礎実習-2	31

情報経済論	152
情報検索システム	119, 131
情報行動論	63
情報サービス経営論.....	151
情報サービス構成論.....	155
情報サービスシステム	124
情報資源経営実習	147
情報システム概説.....	39
情報社会と法制度.....	26
情報数学.....	37
情報探索論.....	61
情報デザインとインタフェース	136
情報評価.....	116
情報法.....	163
情報メディアの活用	82
情報リテラシ実習	24
生命情報学.....	120
専門英語 A-1.....	54
専門英語 A-2.....	55
専門英語 A-3.....	56
専門英語 A-4.....	57
専門英語 B-1.....	87
専門英語 B-2.....	88
専門英語 B-3.....	89
専門英語 C-1.....	90
専門英語 C-2.....	91
専門英語 C-3.....	92
ソーシャルメディア分析	114
卒業研究.....	95
ソフトウェア工学.....	144

〔た行〕

体験型システム開発 A	85
体験型システム開発 B	86
多変量解析.....	60
知識科学実習	99

知識構造化法	115	テキスト解釈-2.....	75
知識コミュニケーション.....	108	テキスト解釈-3.....	76
知識資源組織化論	65	テクニカルコミュニケーション	100
知識資源の記述	139	哲学.....	28
知識資源の分析	138	統計.....	38
知識資源の用語管理	－	読書と豊かな人間性	81
知識情報演習 I-1.....	46	図書館概論.....	40
知識情報演習 I-2.....	48	図書館建築論.....	113
知識情報演習 II-1	50	図書館文化史論.....	167
知識情報演習 II-2	51	図書館論.....	148
知識情報演習 III-1	52	特許情報論.....	102
知識情報演習 III-2	53	〔な行〕	
知識情報概論	27	日本図書館学.....	169
知識情報システム実習.....	123	〔は行〕	
知識情報特論 I.....	93	パブリックガバナンス	153
知識情報特論 II.....	94	ヒューマンインタフェース	137
知識発見基礎論	64	フレッシュマンセミナー	23
知識論	104	プログラミング演習 I-1	32
知的財産概論	45	プログラミング演習 I-2	33
知的財産権論 A.....	165	プログラミング演習 II-1	34
知的探求の世界 I-2.....	175	プログラミング演習 II-2	35
知的探求の世界 I-4.....	177	プログラミング演習 II-3	36
知的探求の世界 I-5.....	178	〔ま行〕	
知的探求の世界 II-2	179	マークアップ言語.....	143
知的探求の世界 II-5	181	マルチメディアシステム	133
中国図書館学	168	メディアアート	137.5
デジタルキュレーション.....	130	メディア教育の実践と評価.....	161
デジタルドキュメント.....	125	メディア社会学.....	69
デジタルライブラリ.....	126	メディア社会文化論.....	109
データ構造とアルゴリズム.....	118, 142	〔ら行〕	
データ表現と処理	134	量的調査法.....	59
データベース概説	66	レファレンスサイエンス	107
データベース技術	135		
データマイニング	117		
テキスト処理	141		
テキスト解釈-1	74		

MEMO